



NHK 詳細分析

2026-05-03_radio_news_0700

放送: 2026-05-03 | 分析日: 2026-05-13 13:02

Version 2.8-detail | Universal 2.8-detail | Konverter 3.4 (2026-05-20) | 基準: 放送法 第4条

総合スコア

3.6/10

軽微な不均衡

0 = 均衡、10 = 著しく偏向/操作的

政治スペクトラム

チャペルヒル専門家調査 (CHES) 2024に基づく分類

チャペルヒル専門家調査 (CHES 2024) は、31か国609人の政治学者による 学術調査です。各政党は0 (極左) から 10 (極右) のスケールで評価されます。

政党	JCP	CDP	DPP	Komeito	LDP	JIP
CHES	1.50	3.50	4.80	5.20	7.00	7.80
スペクトラム	左派	左派	中道	中道	右派	右派

全体的な傾向は0-10スケールで表示されます (0 = 強い左派優遇、5 = バランス、10 = 強い右派優遇)。計算は左派・右派政党の平均優遇度の差に基づきます (CHES 2024によるグループ分け)。

傾向 (左 - 右)

5.0 / 10

均衡

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

← 左

右 →

出典: Chapel Hill Expert Survey 2024 — chesdata.eu | [Jolly et al., Electoral Studies, 2022](https://doi.org/10.1017/XES.2022.1) | 関値: [Pew Research Center](https://www.pewresearch.org/)

このセクションは政治的文脈を提供し、総合スコアには含まれません。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



政治的景観

現政権：自由民主党（LDP）＋公明党（Komeito）連立政権。高市早苗首相（トランスクリプト内「高市総理大臣」として言及）。2024年10月27日衆院選でLDPは191議席に後退したが、連立政権を維持。

主要野党：立憲民主党（CDP、148議席）が最大野党。日本維新の会（Ishin、38議席）、国民民主党（DPP、28議席）、公明党（24議席）、れいわ新選組（9議席）、日本共産党（JCP、8議席）。

政党	L-Rスコア	議席数	政府／野党	核心的立場
日本共産党（JCP）	1.5	8	野党	改憲反対、即時脱原発、反軍拡
れいわ新選組	2.5	9	野党	消費税廃止、反軍拡、左派ポピュリズム
立憲民主党（CDP）	3.5	148	野党	9条改正反対、分配重視、脱原発
公明党（Komeito）	5.0	24	与党	平和主義、社会保障、LDP連立
国民民主党（DPP）	5.5	28	中間	消費税減税、実用主義、スウィング政党
自由民主党（LDP）	7.0	191	与党	改憲推進、防衛増強、経済成長
日本維新の会（Ishin）	7.0	38	野党	規制緩和、改憲推進、大阪発
参政党	9.0	—	野党	超国家主義、右派ポピュリズム

憲法改正をめぐる与野党の対立が最大の争点であり、特に緊急事態条項の創設について自民・維新が推進、共産党が反対、立憲・国民民主が慎重姿勢を示している。防衛費のGDP比2%への増額、エネルギー政策（原発再稼働対脱原発）、夫婦別姓問題も主要な対立軸である。2024年衆院選でLDPが大幅に議席を失ったことで、政権基盤が不安定化しており、野党との協議が不可欠な状況が続いている。

NHKは放送法に基づく公共放送機関であり、放送法第4条により政治的公平、報道の正確性、多角的な論点提示が義務付けられている。経営委員会の12名は首相が任命（国会同意）するため、安倍政権以降「政府寄り」との批判が学

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung
Association suisse pour une information équilibrée
Associazione svizzera per un reporting equilibrato

術界・市民社会から継続的に提起されている。RSF報道自由度ランキングでは日本は70位（2024年）にとどまり、記者クラブ制度が情報アクセスの構造的偏りを生んでいるとされる。

- タイトル：NHKニュース（朝のニュース番組、気象情報含む）
- 日付（ファイル名より推定）：2025年5月3日（憲法記念日）
- 推定放送時間：約14分（00:00:00～00:14:10）
- アナウンサー／レポーター：政野光則アナウンサー（スポーツ担当）、吉井明子（気象担当）、メインアナウンサー（氏名不明）
- 出演者：

人物	役職	政党／所属	政治的スペクトル
田田の正人教授（※）	専修大学法科大学院教授、憲法・国民投票制度専門	学術（中立的立場）	中立（学術）
高市総理大臣（言及のみ）	内閣総理大臣	LDP	右（7.0）
ガリバーバディ外務次官（言及のみ）	イラン外務次官	イラン政府	該当なし
トランプ大統領（言及のみ）	米国大統領	共和党	右派

※「田田の正人」はトランスクリプトの音声認識誤りと推定。正確な氏名は映像確認が必要。

憲法記念日（施行79周年）を機に、憲法改正論議（特に緊急事態条項）、国民投票における広告規制に関する世論調査結果、イラン情勢、米国中間選挙の展望、スポーツ結果、気象情報を複合的に報道した朝のニュース番組。

憲法記念日は毎年、改憲推進派と護憲派が対立する象徴的な日であり、2025年は高市政権が「来年の自民党大会までに改正発議に目処をつけたい」と明言したことで政治的緊張が高まっている。緊急事態条項は、大規模災害時の議員任期延長や政府権限強化を可能にするものとして、民主主義の根幹に関わる議論である。国民投票における広告規制問題は、テレビ・ラジオには規制があるがインターネットには規制がないという非対称性が焦点であり、情報環境の公正性に直結する。

- * 緊急事態条項の具体的内容と民主主義への影響（権力集中リスク）
- * 護憲派市民・学者の立場（改憲反対の論拠）
- * 国民投票広告規制の国際比較（フランス、ドイツ等の規制モデル）
- * インターネット広告の実態と影響（SNS上の情報操作リスク）
- * 各党の改憲に関する具体的な条文案・立場の詳細
- * 市民・有権者の声（改憲に対する一般国民の多様な意見）
- * 憲法学者の多数意見（改憲の合憲性・必要性に関する学術的コンセンサス）
- * 過去の国民投票事例（他国での広告規制の効果と問題点）
- * 参議院緊急集会制度の現状と機能評価
- * 改憲発議要件（衆参各院の3分の2以上）の現実的達成可能性

[A] 部分的に言及

タイムスタンプ：01:39～02:26

引用：「与党側は、改正の実現に向けて緊急事態商工の創設など、具体的な検討を加速させたい考えですが」

評価：緊急事態条項の内容説明はなく、民主主義への影響についての言及は皆無。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung
Association suisse pour une information équilibrée
Associazione svizzera per un reporting equilibrato

[B] 言及なし

タイムスタンプ：該当なし

引用：なし

評価：護憲派市民・学者の声は完全に欠落。共産党の反対のみ一文で言及。

[C] 言及なし

タイムスタンプ：該当なし

引用：なし

評価：国際比較の視点は全く提示されていない。

[D] 部分的に言及

タイムスタンプ：03:28～03:40

引用：「インターネットには規制がありません」

評価：問題提起はあるが、具体的なリスクや事例の説明なし。

[E] 部分的に言及

タイムスタンプ：01:39～03:12

引用：「自民・維新両党が大規模災害などへの対応を盛り込んだ緊急事態商工を創設すべきだと主張」

評価：各党の立場は列挙されているが、具体的な条文内容の説明なし。

[F] 言及なし

タイムスタンプ：該当なし

引用：なし

評価：市民の声は世論調査数値のみで、個別の声は皆無。

[G] 部分的に言及

タイムスタンプ：05:12～05:38

引用：「専修大学法科大学院の田田の正人教授は...プロセスをきちんと作っていくことは重要だと指摘しています」

評価：一名の学者のみ、かつ広告規制に限定した言及。改憲の合憲性・必要性に関する学術的議論なし。

[H] 言及なし

タイムスタンプ：該当なし

引用：なし

評価：他国の国民投票事例への言及なし。

[I] 言及あり

タイムスタンプ：02:46～02:52

引用：「今の憲法で規定されている参議院の緊急集会のあり方なども考慮すべきだと指摘し」

評価：中道改革連合の主張として一文のみ言及。詳細説明なし。

[J] 言及なし

タイムスタンプ：該当なし

引用：なし

評価：発議要件の現実的達成可能性についての分析なし。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung
Association suisse pour une information équilibrée
Associazione svizzera per un reporting equilibrato

理由：10の必要な視点のうち、完全に取り上げられたものは皆無。部分的言及が4項目、完全欠落が6項目。特に護憲派の論拠、国際比較、市民の声、憲法学者の多数意見が欠落しており、憲法記念日という重要な日の報道として著しく不完全である。

- ・護憲派憲法学者：緊急事態条項の権力集中リスクと民主主義への影響を具体的に論じることができた
- ・市民団体代表（護憲側）：改憲反対の市民的立場と具体的懸念を提示できた
- ・メディア法専門家：国民投票広告規制の法的枠組みと国際標準を説明できた
- ・SNS・デジタルメディア研究者：インターネット広告の情報操作リスクを具体的に示せた
- ・野党（立憲民主党）の具体的発言者：改憲反対の論拠を詳述できた
- ・一般有権者（改憲反対派）：世論の多様性を示せた
- ・参議院緊急集会制度の専門家：現行制度の機能と改憲の必要性を評価できた
- ・比較憲法学者：他国の緊急事態条項の運用実態と問題点を提示できた

ハードファクト — 定量的かつ科学的に検証可能な9つの手法

1. 専門家の選定

5/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：誰が専門家として発言しているか？

専門家1：田田の正人教授（専修大学法科大学院、憲法・国民投票制度専門）

タイムスタンプ：05:12～05:38

発言：「最近の衆議院選挙などで広告のあり方が議論になったこともあり、国民もこの問題についての関心や意識を持っていると感じる。選挙と比べても憲法改正の国民投票は結果の軌道修正も難しいため、プロセスをきちんと作っていくことは重要だと指摘しています」

位置づけ：国民投票制度の専門家として紹介。発言内容は広告規制の重要性を示唆するもので、改憲の是非には言及していない。

欠落している対立意見：改憲推進派の法学者（例：憲法改正の必要性を主張する憲法学者）、または護憲派の憲法学者（改憲の問題点を指摘する立場）が欠落。

情報源の深層チェック：

(a) 資金調達：専修大学は私立大学。国家・宗教・特定政党からの直接的な資金依存は確認されない。利益相反の可能性は低い。

(b) 委任：憲法・国民投票制度の専門家として、広告規制に関するコメントは専門領域と合致。委任と発言内容の整合性は高い。

(c) 信頼性マトリクス（情報源信号機、6次元、各-2～+2）：

- D1 利益相反：+1 — 私立大学所属、明確な利益相反なし
- D2 個人的リスク：+1 — 学術的立場からの発言、個人的リスクは中程度
- D3 専門能力：+2 — 憲法・国民投票制度の専門家として発言内容と専門領域が一致
- D4 意見の一貫性：0 — 過去の発言との比較データなし
- D5 感情化対データ：+1 — 比較的データ・論理に基づいた発言
- D6 情報源レベル：+1 — 専門家の直接コメント（一次に近い）

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung
Association suisse pour une information équilibrée
Associazione svizzera per un reporting equilibrato

- 合計 : +6 → 情報源信号機 : 緑

(c) 専門能力: 中立的として枠組みされているが構造的に偏っているか : 発言内容は広告規制の必要性を示唆するもので、改憲推進・護憲のいずれかに明確に偏ってはいない。ただし、改憲の是非に関する学術的議論（憲法学者の多数意見等）は全く提示されていない。

欠落している専門家グループ :

- 護憲派憲法学者（改憲の問題点・違憲性を論じる立場）
- 改憲推進派憲法学者（緊急事態条項の必要性を論じる立場）
- デジタルメディア・選挙広告の専門家

まとめ（マトリクス結果） :

- 田田の正人教授 : 情報源信号機 緑（+6）、専門領域と発言内容の整合性は高いが、改憲論議全体における学術的多様性が欠落している。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



2. 情報源の選択

4/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

一次情報源のない主張 = ペナルティポイント (噂チェック)

定義：どの情報源が引用されているか？多様性と独立性はあるか？

情報源 1：専修大学法科大学院・田田の正人教授

タイムスタンプ：05:12～05:38

引用：「プロセスをきちんと作っていくことは重要だと指摘しています」

- (a) 資金調達と運営主体：専修大学（私立大学）。国家・宗教・特定政党からの直接的な資金依存は確認されない。
- (b) 構造的利益相反：明確な利益相反なし。ただし、広告規制の重要性を示唆する発言は、改憲プロセスの慎重化を支持する立場と解釈可能。
- (c) 対立意見を示す情報源の欠落：改憲推進派の法学者、または「現行の自主規制で十分」という立場の専門家が欠落。

情報源 2：NHK世論調査

タイムスタンプ：03:45～05:06

- (a) 資金調達と運営主体：NHK自身が実施した世論調査。NHKは受信料と政府任命の経営委員会によって運営される公共放送。
- (b) 構造的利益相反：NHKが自社の世論調査を自社の放送で報道するという構造は、調査設計・質問文・結果解釈において自己参照的な利益相反を内包する。特に、国民投票広告規制はNHK自身の放送規制にも関連するテーマであり、NHKの機関的利益が調査設計に影響する可能性を排除できない。
- (c) 欠落している対立情報源：独立した調査機関（朝日新聞、読売新聞等）の同テーマに関する世論調査との比較が欠落。

情報源 3：リアルクリアポリティクス（米国政治情報サイト）

タイムスタンプ：08:40～08:59

引用：「1月1日時点の各種世論調査の平均値では、トランプ大統領の政権運営を支持すると答えた人は40.9%」

- (a) 資金調達と運営主体：米国の政治情報集約サイト。保守寄りの傾向があるとされるが、世論調査の集約機能は広く利用されている。
- (b) 構造的利益相反：米国政治に関する情報源として、特定の政治的立場への偏りの可能性あり。
- (c) 欠落している対立情報源：FiveThirtyEight等の他の世論調査集約サイトとの比較なし。

まとめ：NHK自身の世論調査を主要情報源として使用することは自己参照的な利益相反を内包しており、独立した情報源との比較が欠落している。専門家も一名のみで、多様な学術的立場が反映されていない。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



3. 時間配分

4/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：異なる立場間の発言時間の配分。

推定発言時間：

- 憲法改正論議（全体）：約110秒（01:33～03:27）、全体の約13%
- 与党・改憲推進側（LDP、Ishin、DPP、チーム未来）の立場：約45秒
- 野党・慎重・反対側（中道改革連合、共産党）の立場：約15秒
- 中立的説明：約50秒
- 国民投票広告規制（世論調査含む）：約130秒（03:28～05:38）、約16%
- イラン情勢：約110秒（05:41～07:26）、約13%
- 米国中間選挙：約130秒（07:31～09:48）、約16%
- スポーツ：約120秒（09:51～11:51）、約14%
- 気象情報：約130秒（00:00～01:33、11:53～13:58）、約16%
- その他（告知等）：約70秒、約8%

まとめ：憲法改正論議において、改憲推進側（与党＋維新＋国民民主）の立場が護憲・慎重側の約3倍の時間を占めている。ただし、全体的な時間配分はニュース番組として多様なトピックをカバーしており、特定の政治的立場への極端な偏重とは言えない。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



4. 省略 (選択的省略)

6/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：関連性があるにもかかわらず何が示されていないか？ (ステップ0を参照)

省略1：

文脈：緊急事態条項の具体的内容と民主主義への影響

関連タイムスタンプ：02:09～02:26

影響：「大規模災害への対応」という側面のみが提示され、議員任期延長・政府権限集中・基本的人権の制限可能性といった民主主義的懸念が完全に省略されている。これにより、緊急事態条項への反対意見が根拠のないものに見える。

省略2：

文脈：護憲派市民・学者の具体的な論拠

関連タイムスタンプ：01:39～03:12

影響：共産党の「改憲そのものに反対」という一文のみで護憲側の立場が代表されており、護憲の具体的な論拠（9条の平和的機能、現行制度の十分性等）が全く提示されていない。

省略3：

文脈：国民投票広告規制の国際比較と具体的なリスク事例

関連タイムスタンプ：03:28～05:38

影響：インターネット広告規制の欠如という問題提起はあるが、他国での規制モデルや実際の情報操作事例（Brexit等）への言及がなく、問題の深刻さが視聴者に伝わらない。

まとめ：憲法記念日という重要な日の報道において、改憲反対の具体的論拠、緊急事態条項の民主主義的リスク、国際比較という三つの重要な視点が体系的に省略されており、改憲推進側に有利な情報環境が形成されている。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



5. 数値操作

3/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

完全な数値には：絶対値、割合（%）、傾向を含む

定義：統計の選択的または誤解を招く使用。

所見 1：

タイムスタンプ：03:45～05:06

数値：「流す量や時期を法律で規制すべきだが、35%が最も多くなりました」「法律ではなく自主規制に委ねるべきだが22%」「広告の規制は一切必要ないが20%」「広告は一切禁止すべきだが9%」

欠落している文脈：「その他・わからない」の割合（残り14%）が明示されていない。また、回答率35.9%（3476人中1248人）という低い回答率が、結果の代表性に与える影響についての説明がない。

影響：35%という最多回答が「法律規制支持」であることが強調されているが、規制不要・自主規制の合計（42%）が規制支持（35%）を上回るという解釈も可能であり、この点が提示されていない。

所見 2：

タイムスタンプ：04:07～04:17

数値：「調査の対象となったのは3476人で、35.9%に当たる1248人から回答を得ました」

欠落している文脈：35.9%という回答率は世論調査として比較的低い水準であり、非回答バイアスの可能性についての説明がない。

影響：調査の信頼性・代表性に関する重要な留保が提示されていない。

まとめ：世論調査の提示において、回答率の低さと選択肢の解釈可能性に関する重要な文脈が欠落しており、「法律規制支持」が最多という印象が強調されている。ただし、数値自体の改ざんや重大な誤用は確認されない。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



7. タイミング

4/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：情報の戦略的配置（冒頭・中間・末尾）。

所見 1：

位置：01:33～01:39（気象情報から憲法論議への転換点）

内容：「憲法記念日の今日、日本国憲法は施行から79年を迎えました」

タイミング効果：気象情報（安全・実用的情報）の直後に憲法論議を配置することで、視聴者の注意が確保された状態で政治的コンテンツが提示される。

所見 2：

位置：01:58～02:05（憲法論議の冒頭）

内容：「来年の自民党大会までに改正の発議に目処をつけたいと強い意欲を示しています」

タイミング効果：憲法論議の最初の具体的な政治的発言として首相の改憲意欲が配置されており、改憲推進を議論の出発点として設定する効果がある。護憲側の立場は後半に配置。

所見 3：

位置：05:38～（憲法論議の終了後）

内容：イラン情勢へ転換

タイミング効果：憲法論議が専門家コメント（広告規制の重要性）で締めくくられ、改憲の是非に関する議論が深まる前に別トピックへ移行。視聴者が改憲問題を深く考える機会が制限される。

まとめ：憲法論議において改憲推進側の立場が冒頭に配置され、護憲側が後半に短く言及される構造は、改憲推進を議論の規範的出発点として設定するタイミング効果を持つ。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



8. 選択的憤慨

1/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

憤慨 = バイアス。選択的憤慨は所見を強化する。スコア = 憤慨度 (0-5) + 選択性 (0-5)

定義：特定の立場に対する憤慨はあるが、同等の他の立場には見られない。

方法論的原則 (v2.2)：評価の前に、反応を引き起こした具体的な出来事を記録すること。反応は、他の立場における同等の出来事が同様の反応を生じさせなかった場合にのみ選択的と評価できる。

所見 1：

タイムスタンプ：全体

引き起こした出来事：本放送はナレーション主体のニュース形式であり、感情的反応・憤慨を示す表現は確認されない。

反応：なし

比較：全立場において感情的反応なし

非対称性：確認不可能。

まとめ：本放送において選択的憤慨の明確な事例は確認されない。ナレーション形式の報道であり、感情的表現は全体的に抑制されている。スコア1は、わずかな言語的差異（「強い意欲」等）を考慮したものである。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung
Association suisse pour une information équilibrée
Associazione svizzera per un reporting equilibrato

9. 網羅性								7/10	
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

カバーされた視点の割合

反転: 元の値は網羅性を測定 (高い = 良い)。偏差として表示 (高い = 大きなギャップ)。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** kontakt@SVFAB.ch
주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



ソフトファクト — 6つの定性的手法

10. フレーミング (枠組み設定)

4/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：テーマはどのように根本的に枠組みされているか？

所見 1：

タイムスタンプ：01:39～01:53

引用：「与党側は、改正の実現に向けて緊急事態商工の創設など、具体的な検討を加速させたい考えですが、野党の間では賛否が分かれていて、国会での議論が活発になる見通しです」

操作：改憲を「与党が推進し、野党が対応する」という枠組みで提示。改憲推進が既定路線であるかのような印象を与える。

なぜ問題か：護憲を「正当な政策選択」ではなく「賛否が分かれる」という相対化された立場として位置づけ、改憲推進側の立場を規範的な出発点として設定している。

所見 2：

タイムスタンプ：01:58～02:05

引用：「来年の自民党大会までに改正の発議に目処をつけたいと強い意欲を示しています」

操作：首相の「強い意欲」という表現が、改憲を政治的に正当かつ積極的な目標として枠組みしている。

なぜ問題か：「強い意欲」という肯定的な表現が、改憲推進を望ましい政治的方向性として暗示する。護憲派の「強い反対」に相当する表現は使用されていない。

所見 3：

タイムスタンプ：02:09～02:26

引用：「自民・維新両党が大規模災害などへの対応を盛り込んだ緊急事態商工を創設すべきだと主張していることを受けて」

操作：緊急事態条項を「大規模災害への対応」という人道的・実用的文脈で枠組みし、権力集中リスクという側面を完全に排除している。

なぜ問題か：「大規模災害への対応」という枠組みは、緊急事態条項に対する反対意見を「災害対応に反対する」かのように見せる効果を持つ。

まとめ：改憲推進を既定路線・規範的方向性として枠組みし、護憲を「賛否が分かれる」相対的立場として位置づけるフレーミングが一貫している。ただし、露骨な操作ではなく、構造的な枠組みの偏りである。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



11. 言葉の選択と用語

3/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：どのような言語が使用されているか？どのような含意が設定されているか？

所見 1：

タイムスタンプ：01:58～02:05

引用：「強い意欲を示しています」

操作：「強い意欲」は肯定的・積極的な含意を持つ表現。

なぜ問題か：中立的な代替表現は「改正発議を目指す方針を示しています」。「強い意欲」は首相の姿勢を好意的に描写する効果がある。

所見 2：

タイムスタンプ：02:52～02:56

引用：「共産党は、改憲そのものに反対します」

操作：共産党の立場のみ「改憲そのものに反対」という絶対的・硬直的な表現で描写。

なぜ問題か：他党の立場は「主張」「指摘」「賛成や理解を示す」等の多様な動詞で表現されているのに対し、共産党のみ「反対します」という断定的表現が使用されており、孤立した強硬派という印象を与える。

所見 3：

タイムスタンプ：03:09～03:12

引用：「野党側の理解も得やすいテーマだとして」

操作：「理解も得やすい」という表現は、与党の視点から野党を「説得すべき対象」として位置づける。

なぜ問題か：野党の立場を独立した政策判断者ではなく、与党の説得を受ける受動的な存在として描写している。

まとめ：言葉の選択において与党・改憲推進側に肯定的な表現が集中し、護憲側（特に共産党）に硬直的・孤立的な印象を与える表現が使用されている。ただし、全体的には比較的抑制された言語使用である。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



12. 司会者の行動

2/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：質問、割り込み、共感表明における非対称性。

方法論的原則 (v2.2)：評価の前に、介入を引き起こした具体的な出来事を記録すること。介入は、他のゲストにおける同等の出来事が同様の介入を生じさせなかった場合にのみ非対称と評価できる。

所見 1：

タイムスタンプ：05:12～05:38

引き起こした出来事：世論調査結果の提示後、専門家コメントの紹介

引用（司会者）：（直接的な司会者の質問・介入は確認できない。専門家コメントはナレーション形式で紹介）

比較：他の出演者との比較対象なし（スタジオゲストなし）

非対称性：確認不可能。本放送はスタジオ討論形式ではなく、ナレーション主体のニュース形式であるため、司会者の介入パターンを評価する機会が限定的。

所見 2：

タイムスタンプ：01:39～03:27

引き起こした出来事：憲法改正論議の報道

引用（司会者）：各党の立場を列挙する形式で報道（直接的な介入なし）

比較：全党の立場がナレーション形式で紹介されており、特定の党への介入は確認されない

非対称性：確認不可能。

まとめ：本放送はスタジオ討論形式ではなくナレーション主体のニュース形式であるため、司会者の介入パターンに関する非対称性を評価する機会が著しく限定的である。確認可能な非対称性は認められない。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



13. 質問の非対称性

1/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：異なる人物への質問の硬軟の違い。

非対称性 1 :

本放送はスタジオ討論形式ではなく、ナレーション主体のニュース形式であるため、異なる人物への質問の硬軟を比較評価することは構造的に不可能である。専門家コメントも直接インタビュー形式ではなく、ナレーションによる紹介形式で提示されている。

まとめ：本放送の形式上、質問の非対称性を評価する機会がほとんどない。スタジオ討論や直接インタビューが含まれていないため、このクライテリアの適用可能性は著しく限定的である。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



14. 偽りの均衡 (フォールス・バランス)

3/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：実際の不均衡にもかかわらず人工的な均衡を作り出す。

所見 1：

タイムスタンプ：01:39～01:53

構造：「与党側は...考えですが、野党の間では賛否が分かれています」

分析：与党（LDP+Komeito）と「野党の間での賛否」を対置することで、表面的な均衡を演出しているが、実際には改憲推進側（LDP、Ishin、DPP、チーム未来）が護憲・慎重側（CDP、JCP）を数的に上回っており、「賛否が分かれています」という表現が実際の政治的分布を正確に反映していない。

所見 2：

タイムスタンプ：02:26～02:56

構造：各党の立場を列挙する形式

分析：自民・維新（推進）、国民民主・チーム未来（賛成・理解）、賛成党（急進的推進）、中道改革連合（慎重）、共産党（反対）という列挙は、改憲推進側が多数を占めるという実態を「各党の立場が多様」という印象で覆い隠す効果がある。

まとめ：各党の立場を並列的に列挙する形式は表面的な均衡を演出しているが、改憲推進側が数的・政治的に優位であるという実態が適切に示されていない。ただし、意図的な偽りの均衡というよりも、ニュース報道の形式的制約による結果と評価できる。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



15. アジェンダ設定

5/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：何が正常・自明とされているか？何がアジェンダに上らないか？

所見 1：

設定されたアジェンダ要素：改憲は「いつ」「どのように」実現するかという問題として設定されており、「改憲すべきか否か」という根本的な問いはアジェンダに上っていない。

タイムスタンプ：01:58～02:05

証拠：「来年の自民党大会までに改正の発議に目処をつけたいと強い意欲を示しています」

代替アジェンダ：「改憲の必要性はあるか」「現行憲法で対応できない問題は何か」という問いが欠落。

所見 2：

設定されたアジェンダ要素：緊急事態条項は「大規模災害への対応」という実用的問題として設定されており、民主主義的リスクはアジェンダに上っていない。

タイムスタンプ：02:09～02:26

証拠：「大規模災害などへの対応を盛り込んだ緊急事態商工を創設すべきだと主張」

代替アジェンダ：「緊急事態条項は民主主義にどのようなリスクをもたらすか」という問いが欠落。

所見 3：

設定されたアジェンダ要素：国民投票広告規制は「テレビ・ラジオ対インターネット」という技術的問題として設定されており、改憲プロセス全体の民主的正当性はアジェンダに上っていない。

タイムスタンプ：03:28～05:38

証拠：「テレビとラジオに規制が設けられている一方、インターネットには規制がありません」

代替アジェンダ：「改憲プロセスにおける情報環境の公正性をどう確保するか」という包括的問いが欠落。

まとめ：改憲を「いつ・どのように」実現するかという問いをアジェンダの中心に置くことで、「改憲すべきか否か」という根本的な問いが自明でないものとして排除されている。これは憲法記念日の報道として重大なアジェンダ設定の偏りである。

ステップ 2 — 総合評価

個別スコア一覧

番号	基準	スコア	主要所見 (1文)
1	フレーミング	4	改憲推進を規範的出発点として枠組みし、護憲を相対化された立場として位置づけている

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



2	言葉の選択	3	与党・改憲推進側に肯定的表現が集中し、共産党に硬直的印象を与える表現が使用されている
3	専門家の選定	5	一名の専門家のみで、改憲の是非に関する学術的多様性が欠落している
4	省略	6	緊急事態条項の民主主義的リスク、護憲の具体的論拠、国際比較が体系的に省略されている
5	司会者の行動	2	ナレーション形式のため評価機会が限定的、確認可能な非対称性なし
6	時間配分	4	改憲論議において推進側が護憲・慎重側の約3倍の時間を占めている
7	質問の非対称性	1	ナレーション形式のため評価不可能
8	接触による罪	1	明確なギルト・バイ・アソシエーションは確認されない
9	数値操作	3	世論調査において回答率の低さと選択肢解釈の可能性に関する文脈が欠落
10	タイミング	4	改憲推進側の立場が冒頭に配置され、護憲側が後半に短く言及される構造
11	映像選択	0	トランスクリプトから視覚的要素の評価不可能
12	情報源の選択	4	NHK自身の世論調査を主要情報源とする自己参照的利益相反が存在する
13	選択的憤慨	1	ナレーション形式のため感情的表現は全体的に抑制されており、選択的憤慨なし
14	偽りの均衡	3	各党の立場の並列列挙が改憲推進側の数的優位を覆い隠す効果を持つ
15	アジェンダ設定	5	「改憲すべきか否か」という根本的問いがアジェンダから排除されている

結果

- 総合スコア（15基準の平均）：3.1 / 10
- 完全性スコア：3.0 / 10
- 複合スコア：3.1 / 10（基準70%+完全性30%： $3.1 \times 0.7 + 3.0 \times 0.3 = 2.17 + 0.90 = 3.1 / 10$ ）

支配的な技法

本放送における最も強力な3つの技法：

1. 省略（スコア6）：緊急事態条項の民主主義的リスク、護憲の具体的論拠、国際比較という三つの重要な視点が体系的に省略されており、改憲推進に有利な情報環境が形成されている。憲法記念日という象徴的な日の報道として、この省略は放送法第4条の多角的論点提示義務に照らして特に問題である。
2. アジェンダ設定（スコア5）：「改憲をいつ・どのように実現するか」という問いをアジェンダの中心に置くことで、「改憲すべきか否か」という根本的問いが自明でないものとして排除されている。これは視聴者の思考の枠組みを改憲推進の方向に誘導する構造的効果を持つ。
3. 専門家の選定（スコア5）：一名の専門家のみが引用され、かつその発言は広告規制という限定的なテーマに限定されている。改憲の是非に関する学術的多様性（護憲派・改憲推進派双方の憲法学者）が完全に欠落しており、視聴者が多角的な学術的見解を得る機会が失われている。

放送の核心的メッセージ

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** kontakt@SVFAB.ch
주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung
Association suisse pour une information équilibrée
Associazione svizzera per un reporting equilibrato

メッセージ1 (内容的) : 「憲法改正、特に緊急事態条項の創設は、政治的に前進しつつある現実的な課題である」

技法 : フレーミング、アジェンダ設定、タイミング — 証拠 : 01:58~02:05、02:09~02:26

メッセージ2 (個人的) : 「高市首相は改憲に強い意欲を持つリーダーである」

技法 : 言葉の選択 (「強い意欲」) — 証拠 : 01:58~02:05

メッセージ3 (社会的) : 「国民投票における広告規制は重要な課題であり、プロセスの整備が必要だ」

技法 : 専門家の選定、情報源の選択 — 証拠 : 05:12~05:38

操作度の分類

- 均衡のとれた報道 (0~2)
- 軽度の傾向 (3~4)
- 明確な一方性 (5~6)
- 体系的な偏り (7~8)
- 極端な偏り (9~10)

理由 : 本放送は露骨な操作技法を使用しておらず、全体的に抑制された言語使用と形式的な各党立場の列挙を維持している。しかし、改憲推進を規範的出発点とするフレーミング、護憲の具体的論拠の体系的省略、「改憲すべきか否か」という根本的問いのアジェンダからの排除という構造的偏りが認められる。これらは放送法第4条が求める「多角的な論点の提示」の義務に照らして問題があるが、意図的な操作というよりも、ニュース報道の形式的制約と構造的な情報選択の偏りによるものと評価できる。

総括

本放送は憲法記念日(施行79周年)という重要な日に放送されたNHKニュースであり、放送法第4条が求める政治的公平と多角的論点提示の観点から軽度の問題が認められる。改憲推進側の立場が冒頭に配置され、護憲の具体的論拠が体系的に省略されており、「改憲すべきか否か」という根本的問いがアジェンダから排除されている。一方で、各党の立場は形式的に列挙されており、露骨な操作技法は使用されていない。NHK自身の世論調査を主要情報源として使用することは自己参照的な利益相反を内包しており、独立した情報源との比較が求められる。総合的に、本放送は放送法第4条の要件を完全には満たしていないが、重大な違反とまでは言えない軽度の構造的偏りが認められる。

ステップ3 — 政党政治的バイアス

政党別評価

政党	スコア (-5~+5)	放送での描写对党の綱領的立場
LDP (自民党)	+1	01:58 「強い意欲を示しています」 — 綱領的立場 : 改憲推進、緊急事態条項創設 — 綱領と概ね一致、「強い意欲」という肯定的表現あり
CDP (立憲民主党)	-1	02:46 「中道改革連合は、今の憲法で規定されている参議院の緊急集会のあり方なども考慮すべきだと指摘し」 — 綱領的立場 : 9条改正反対、護憲 — 慎重姿勢は示されているが、護憲の具体的論拠が欠落
Komeito (公明党)	0	直接的な言及なし — 綱領的立場 : 慎重な改憲推進、平和主義 — 与党として改憲推進側に含まれているが、独自の慎重姿勢は示されていない

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



Ishin (維新の会)	+1	02:09 「自民・維新両党が大規模災害などへの対応を盛り込んだ緊急事態商工を創設すべきだと主張」 — 綱領的立場：改憲推進、緊急事態条項支持 — 綱領と一致
JCP (共産党)	-2	02:52 「共産党は、改憲そのものに反対します」 — 綱領的立場：改憲反対、9条堅持 — 立場は正確だが、「改憲そのものに反対」という断定的・孤立的な表現が他党と比較して硬直的印象を与える
DPP (国民民主党)	+1	02:33 「国民民主党やチーム未来が賛成や理解を示しています」 — 綱領的立場：実用主義的改憲、緊急事態条項に理解 — 綱領と概ね一致

政党バイアスマとめ

- 最も正確な描写：Ishin (維新の会)、スコア+1 (綱領的立場と一致)
- 最も強い歪曲：JCP (共産党)、スコア-2 (立場は正確だが表現が孤立的・硬直的)
- 0からの平均偏差：1.0
- 総括：改憲推進側 (LDP、Ishin、DPP) の立場は綱領と概ね一致した形で描写されているが、護憲・慎重側 (CDP、JCP) の立場は具体的論拠が欠落し、特に共産党は孤立した強硬派という印象を与える表現が使用されている。公明党の独自の慎重姿勢が全く示されていない点も、連立政権内の多様性を隠蔽する効果がある。

左右全体的傾向

傾向スコア：-0.8

(プラス=左寄り、マイナス=右寄り、0.0=均衡)

分類：右寄り

理由：改憲推進 (右派的立場) を規範の出発点として枠組みし、護憲 (左派・中道左派的立場) の具体的論拠を省略するという構造的偏りが認められる。ただし、各党の立場は形式的に列挙されており、露骨な右寄り報道とは言えない。NHKの政府任命経営委員会という構造的背景を考慮すると、この軽度の右寄り傾向は偶発的なものではなく、構造的な要因を反映している可能性がある。

ステップ4 — 法的評価 (放送法第4条)

放送法第4条に基づく評価

放送法第4条は、政治的公平、報道の正確性、および多角的な論点の提示を求めている。

違反1：

規範：放送法第4条第2号 (政治的公平)

事実：改憲推進側 (LDP、Ishin、DPP) の立場が護憲・慎重側 (CDP、JCP) と比較して量的・質的に優位に扱われており、特に改憲推進を規範の出発点とするフレーミングが認められる。

証拠：タイムスタンプ01:58~02:05 — 「来年の自民党大会までに改正の発議に目処をつけたいと強い意欲を示しています」

評価：首相の改憲意欲が「強い意欲」という肯定的表現で冒頭に配置され、護憲側の具体的論拠が省略されていることは、政治的公平の観点から問題がある。ただし、各党の立場が形式的に列挙されているため、重大な違反とまでは言えない。

違反2：

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung
Association suisse pour une information équilibrée
Associazione svizzera per un reporting equilibrato

規範：放送法第4条第4号（多角的な論点の提示）

事実：憲法記念日の報道において、緊急事態条項の民主主義的リスク、護憲の具体的論拠、国際比較という重要な論点が体系的に省略されており、「改憲すべきか否か」という根本的問いがアジェンダから排除されている。

証拠：タイムスタンプ02:09～02:26 — 「大規模災害などへの対応を盛り込んだ緊急事態商工を創設すべきだと主張」（民主主義的リスクへの言及なし）

評価：緊急事態条項を「大規模災害への対応」という一側面のみで提示し、権力集中リスクという対立的論点を省略することは、放送法第4条第4号が求める多角的論点提示義務に反する可能性がある。

放送法第4条総合評価

本放送は放送法第4条の要件を完全には満たしていないが、重大な違反とまでは言えない軽度の問題が認められる。政治的公平の観点では、各党の立場が形式的に列挙されているものの、改憲推進側に有利なフレーミングと時間配分が認められる。多角的論点提示の観点では、憲法記念日という重要な日の報道として、緊急事態条項の民主主義的リスクと護憲の具体的論拠が体系的に省略されていることは問題である。NHK自身の世論調査を主要情報源として使用することは、放送法第4条が求める報道の正確性・独立性の観点からも検討が必要である。総合的に、本放送は放送法第4条の精神に照らして改善の余地があるが、現時点では法的違反の立証には追加的な証拠（複数回の放送パターン、意図の証明等）が必要である。

情報源の深層チェック（義務的）

専修大学法科大学院・田田の正人教授

- 資金調達：専修大学（私立大学）。国家・宗教・特定政党からの直接的な資金依存は確認されない。
- 委任：憲法・国民投票制度の専門家として、広告規制に関するコメントは専門領域と合致。委任と発言内容の整合性は高い。
- 利益相反：明確な機関的利益相反なし。ただし、「プロセスをきちんと作っていくことは重要」という発言は、改憲プロセスの慎重化を支持する立場と解釈可能であり、改憲推進派からは批判的に見られる可能性がある。
- 信頼性マトリクス（情報源信号機、6次元）：
 - D1 利益相反：+1（私立大学所属、明確な利益相反なし）
 - D2 個人的リスク：+1（学術的立場からの発言、中程度のリスク）
 - D3 専門能力：+2（憲法・国民投票制度の専門家、発言内容と専門領域一致）
 - D4 意見の一貫性：0（過去の発言との比較データなし）
 - D5 感情化対データ：+1（比較的論理的・データ基盤の発言）
 - D6 情報源レベル：+1（専門家の直接コメント）
- 合計：+6 → 情報源信号機：緑
- 対立意見：「現行の自主規制で十分」または「広告規制は表現の自由を侵害する」という立場の専門家が欠落。

NHK世論調査

- 資金調達：NHK（受信料+政府任命経営委員会）。
- 委任：世論調査の実施は放送機関の通常業務の範囲内。ただし、自社が報道するテーマについて自社が調査を実施するという自己参照的構造がある。
- 利益相反：国民投票広告規制はNHK自身の放送規制にも関連するテーマであり、NHKの機関的利益が調査設計・質問文・結果解釈に影響する可能性を排除できない。特に、「テレビとラジオに規制が設けられている一方、インターネットには規制がありません」という問題提起の枠組み自体が、テレビ規制の正当性を前提としている。
- 信頼性マトリクス（情報源信号機、6次元）：
 - D1 利益相反：-1（自社関連テーマの自社調査、自己参照的利益相反）
 - D2 個人的リスク：0（機関としてのリスクは中程度）
 - D3 専門能力：+1（世論調査の実施能力は確認済み）

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung
Association suisse pour une information équilibrée
Associazione svizzera per un reporting equilibrato

D4 意見の一貫性 : 0 (比較データなし)

D5 感情化データ : +1 (数値データ提示)

D6 情報源レベル : +1 (一次調査データ)

• 合計 : +2 → 情報源信号機 : 黄

5. 対立意見 : 独立した調査機関 (朝日新聞、読売新聞、共同通信等) の同テーマに関する世論調査との比較が欠落。

重要注記 : 「専門家」「権威ある機関」という社会的帰属は、それ自体が検証されるべき社会的構築物である。本分析では、上記の6次元マトリクスに基づく客観的評価を優先する。

本分析はバージョン2.7詳細版に基づき、放送法第4条準拠審査として作成された。分析の限界として、トランスクリプトの音声認識誤り (「田田の正人」「緊急事態商工」等)、映像情報の欠落、および単一放送回の分析であることを明記する。放送法第4条違反の法的立証には、複数回の放送パターン分析と意図の証明が追加的に必要である。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



58. 接触による罪 (ギルト・バイ・アソシエーション)

1/10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

定義：否定的なグループ・考えとの関連付けによる信用失墜。

関連付け 1 :

タイムスタンプ : 02:39~02:43

引用 : 「憲法を一から作り直すべきだと主張しています」

技法 : 「賛成党」(参政党と推定)の立場を「一から作り直す」という急進的な表現で紹介。

影響 : 他党の立場が「創設」「指摘」「反対」等の中立的動詞で表現されているのに対し、この表現は急進性を強調する効果がある。ただし、直接的な否定的関連付けとは言えない。

まとめ : 明確なギルト・バイ・アソシエーションの技法は確認されない。「陰謀論者」等のレッテル貼りも存在しない。わずかな言語的差異は認められるが、体系的な信用失墜の試みとは評価できない。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



15基準の総合評価

個別スコア — 全15基準

番号	基準	Score	評価
1	専門家の選定	5/10	顕著な偏り
2	情報源の選択	4/10	軽微な偏り
3	時間配分	4/10	軽微な偏り
4	省略（選択的省略）	6/10	顕著な偏り
5	数値操作	3/10	軽微な偏り
7	タイミング	4/10	軽微な偏り
8	選択的憤慨	1/10	問題なし
9	網羅性	7/10	著しい偏り
10	フレーミング（枠組み設定）	4/10	軽微な偏り
11	言葉の選択と用語	3/10	軽微な偏り
12	司会者の行動	2/10	問題なし
13	質問の非対称性	1/10	問題なし
14	偽りの均衡（フォールス・バランス）	3/10	軽微な偏り
15	アジェンダ設定	5/10	顕著な偏り
58	接触による罪（ギルト・バイ・アソシエーション）	1/10	問題なし

ハードファクトスコア (1-8)

4.2/10

顕著な不均衡

ソフトファクトスコア (9-14)

3.0/10

軽微な不均衡

総合スコア

3.6/10

軽微な不均衡

ハードファクトとソフトファクトの平均

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



凡例 — スコアの定義

基準ごとの個別スコア (0-10)

0	所見なし	関連する異常は検出されませんでした。
1-2	軽微な所見	バランスに実質的な影響のない軽微な異常。
3-4	軽度～中程度の所見	認識可能な傾向；影響の関連性は低～中程度。
5	影響のある中程度の所見	視聴者の意見形成に影響を与える関連性のある偏り。
6	重要な所見 (閾値)	スコア6以上は「重要な所見」に分類されます。
7	重要な所見	明確で十分に文書化された偏り、明らかな影響の関連性。
8-9	深刻な所見	顕著な偏り；この基準で複数の文書化された個別の所見。
10	最大の深刻度	この基準における体系的で広範な偏り。

集約偏差指数 — 解釈範囲

0.0 - 2.5	問題なし	重要なパターンは検出されず；放送は公平性基準を満たしています。
2.6 - 4.0	軽微な偏り	孤立した異常；統計的に認識可能だが許容範囲内。
4.1 - 6.0	重要な偏り	複数の重要な所見；視点の多様性に対する関連性のある損傷。
6.1 - 8.0	公平性基準からの深刻な逸脱。高い逸脱度	放送をまたぐ顕著なパターン；高い影響の関連性。
8.1 - 10	根本的な体系的・一方向性。非常に高いバイアス度	ほぼ全ての基準で最大の深刻度；体系的に一方的な報道。

政党バイアス (-5~+5)

-5~-3	強く不利	政党はフレーミング、放送時間、またはプレゼンテーションで著しく過小代表されている。
-2~-1	やや不利	認識可能だが軽微な不利。
0	中立	検出可能な優遇や不利益なし。
+1~+2	やや有利	認識可能だが軽微な優遇。
+3~+5	強く有利	政党はフレーミング、放送時間、またはプレゼンテーションで著しく過大代表されている。

法的・方法論的注記

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** kontakt@SVFAB.ch
주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung
Association suisse pour une information équilibrée
Associazione svizzera per un reporting equilibrato

事実認定ではない

提示された結果は、個人、編集チーム、または放送に関する事実認定を構成するものではありません。標準化された運用化の産物であり、個人の責任の認定ではありません。

法的判断ではない

集計された逸脱指数は放送法 第4条に基づく法的評価に代わるものではありません。特定の放送が法的要件に違反しているかどうかの判断は、管轄当局（特に総務省）の専権事項です。

因果関係の証明ではない

統計的相関は、因果関係や編集意図の証明として解釈されるべきではありません。逸脱値は、テーマ選択、ニュース環境、政治的論争性、またはフォーマットの論理によって影響を受ける可能性があります。

意図の判断ではない

分析は放送の観察可能な構造的特性を測定します。スコア7は、重大な偏りが検出されたことを意味し、編集チームがそれを意図したことを意味しません。方法論は動機や戦略的目標について主張しません。

ヒューリスティックな比較ツール

この指数は、数千の放送にわたる比較パターン認識に役立ち、個々のセグメントの正確なメトリック測定ではありません。閾値はヒューリスティックな方向付けに役立ち、厳密な法的資格付けではありません。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - 연락처: kontakt@SVFAB.ch
주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



付録1：国内放送法

法的根拠 日本 — NHK

法律

- 放送法（昭和25年法律第132号、最終改正 2024年）
- NHK受信規約
- 電波法

放送法 第4条（編集基準）

放送事業者は、国内放送及び内外放送（以下「国内放送等」という。）の放送番組の編集に当たっては、次の各号の定めるところによらなければならない。

- 公安及び善良な風俗を害しないこと。
- 政治的に公平であること。
- 報道は事実をまげないですること。
- 意見が対立している問題については、できるだけ多くの角度から論点を明らかにすること。

出典：e-Gov法令検索（laws.e-gov.go.jp/law/325AC0000000132）

バイアス分析の四つの柱

号	条文	SVFAB分析との関連
1	公安及び善良な風俗を害しないこと	編集基準
2	政治的に公平であること	核心的バイアス指標 — スイス放送法第4条に相当
3	報道は事実をまげないですること	事実検証
4	意見が対立している問題 → 多角的論点提示	多角性・均衡

スイスとの比較

項目	スイス（SRG）	日本（NHK）
法律	放送通信法 第4条	放送法 第4条
独立規制機関	UBI（拘束力あり）	BPO（拘束力なし）
国家規制機関	BAKOM/UVEK	総務省
執行	UBIは苦情を認容可能、BAKOMは制裁可能	BPOは勧告のみ、総務省は行政指導
財源	Serafe受信料	NHK受信料（月額約1,100円）
自主規制	中程度（UBIは独立）	脆弱（BPOはNHKが共同出資）

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



監督機関

総務省

- 放送行政を所管する国家機関
- 放送免許の付与
- 行政指導の発出権限
- NHK予算・事業計画・受信料の承認
- 理論上は免許取消権限を保有
- 直近の措置：2024年9月、NHKラジオ国際放送尖閣事件に対する行政指導

BPO（放送倫理・番組向上機構）

- 2003年設立、非政府、自主規制機関
- NHKとJBA（日本民間放送連盟）が共同運営
- 三委員会：放送倫理検証、放送人権、青少年
- 決定に法的拘束力なし — 自主的遵守に依拠
- NHKがBPOを共同出資 — 構造的独立性に限界

NHKに対する主なBPO決定

年	事案	判断
2015	クローズアップ現代 — やらせ疑惑	重大な放送倫理違反
2022	BS五輪ドキュメンタリー（河瀬直美）	重大な放送倫理違反 — 虚偽字幕
2023	ニュースウオッチ9 — COVID-19報道	放送倫理違反 — ワクチン被害者遺族の誤報

国際比較参照

- RSF 報道自由度指数：日本 2024年 70位（スイス9位、ノルウェー1位と大きな差）
- Freedom House：日本は「自由」に分類、しかしメディアの自由は圧力下（記者クラブ、政府近接性）

構造的背景

NHKは世界最大の公共放送機関（予算約7,200億円 / 約45億ユーロ）。経営委員会（12名、首相が任命、国会同意）を通じた構造的な政府近接性がある。記者クラブ制度が政府情報へのアクセスをメディア各社に限定し、ジャーナリストと政府の距離を縮めている。

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** kontakt@SVFAB.ch
주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



付録2 : 科学的参考文献

参考文献

- Bennett, W. L. (1990). Toward a theory of press-state relations in the United States. *Journal of Communication*, 40(2), 103–125.
- Berelson, B. (1952). *Content analysis in communication research*. Free Press.
- Entman, R. M. (1993). Framing: Toward clarification of a fractured paradigm. *Journal of Communication*, 43(4), 51–58.
- fög – Forschungszentrum Öffentlichkeit und Gesellschaft (2024). *Jahrbuch Qualität der Medien 2024*. Schwabe.
- Gilardi, F., Alizadeh, M. & Kubli, M. (2023). ChatGPT outperforms crowd workers for text-annotation tasks. *PNAS*, 120(30).
- Iyengar, S. & Kinder, D. R. (1987). *News that matters: Television and American opinion*. University of Chicago Press.
- Jolly, S. et al. (2022). Chapel Hill Expert Survey trend file, 1999–2019. *Electoral Studies*, 75, 102420.
- Krippendorff, K. (2004). *Content analysis: An introduction to its methodology* (2nd ed.). Sage.
- McCombs, M. E. & Shaw, D. L. (1972). The agenda-setting function of mass media. *Public Opinion Quarterly*, 36(2), 176–187.
- Shoemaker, P. J. & Vos, T. P. (2009). *Gatekeeping theory*. Routledge.
- SVFAB (2026). *Methodenbericht v4.1: Zählbare Kriterien und Multi-Modell-Kreuzvalidierung*.
- Törnberg, P. (2023). ChatGPT-4 outperforms experts and crowd workers in annotating political Twitter messages. arXiv:2304.06588.

SVFAB Working Papers

- Schläpfer, D. (2026). Systematic AI-Assisted Analysis of Public Broadcaster Impartiality: A Scalable Methodological Framework for Measuring Structural Bias in Public Service Media. [SSRN 6688478](#)
- Schläpfer, D. (2026). Measuring Editorial Noise: A Retrospective Suppression Index for Public Broadcasting Content Analysis. [SSRN 6733280](#)
- Schläpfer, D. (2026). Source Traffic Light: A Six-Dimensional Credibility Framework for Systematic Source Assessment in Public Service Media. [SSRN 6733880](#)

David Schläpfer — ORCID: 0009-0000-5671-9266

SVFAB — スイス公平報道協会 | 私書箱、8021 チューリッヒ 1 | www.svfab.ch | kontakt@svfab.ch | 方法論レポート 2026年3月 | コンバーター 3.4 (2026-05-20)

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** kontakt@SVFAB.ch
주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung
Association suisse pour une information équilibrée
Associazione svizzera per un reporting equilibrato

SVFAB 보고서 및 회원 가입

SVFAB.ch에서는 상세한 보고서를 받아보실 수 있을 뿐 아니라, 모든 선적 건에 대한 보고서 생성 서비스도 이용하실 수 있습니다(유료 서비스).

저희는 지속 가능한 활동을 위해 회원 가입과 기부에 의존하고 있습니다.

연락처 및 추가 정보:

www.SVFAB.ch | Kontakt@SVFAB.ch

은행 계좌: PostFinance – POFICHBE

IBAN: CH32 0900 0000 1675 6251 1

수취인: SVFAB, P.O.Box CH-8021 Zurich 1

회장: 다비드 Schlaepfer / Schläpfer, David - **연락처:** kontakt@SVFAB.ch
주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung
Association suisse pour une information équilibrée
Associazione svizzera per un reporting equilibrato

SVFAB에서 다음 책들을 구입하실 수 있습니다.

주문은 www.svfab.ch 또는 kontakt@svfab.ch를 통해 하실 수 있습니다.



스위스의 '보도 자료 절반 공개' 정책에 대한 대응으로 불균형적인 보도가 나타나고 있습니다. 이 책은 취재진과 정보원 선정부터 시작하여 조작 기법을 상세히 설명합니다. 이어 누락, 프레임 설정, 시간적 프레임 설정, 연좌제, 감정적 이용, 맥락 제거 등 15가지 원칙을 다양한 사례와 함께 제시합니다. 또한, 우리 자신이 이러한 기법을 어떻게 활용하는지 보여줌으로써 이해뿐 아니라 공감까지 이끌어냅니다.

선택 사양으로 트럼프 카드가 함께 제공됩니다.

오디오북으로도 이용 가능합니다.



인터뷰는 대화가 아닙니다. 누군가 대본을 써놓은 무대입니다.

이 점을 이해하지 못하는 사람은 언론에 먹칠을 하는 셈입니다. 좋은 인용구가 잘못 편집되고, 정확한 발언이 잘못된 맥락에서 전달되며, 솔직한 답변이 자백처럼 포장되는 사례가 발생합니다.

이 책은 언론 비평서가 아닙니다. 마이크 앞에 선 모든 사람을 위한 실용적인 도구 상자입니다. 7개의 장으로 구성되어 있으며, 7가지 도구를 제공합니다. 인터뷰의 본질, 가장 흔한 7가지 함정, 세 가지 기본 원칙(앵커링, 프레임링, 경계 설정), 1시간 만에 인터뷰 준비하는 방법, 몸짓과 목소리 사용법, 인터뷰가 잘못될 경우 대처법, 그리고 인터뷰 후 중요한 점까지 다룹니다.

정치인, 활동가, 기업가, 내부고발자 등 대중의 시선을 받는 모든 사람이 언론의 흐름을 이해하고, 더 이상 수동적으로 따라가지 않고 주도적으로 이끌어갈 수 있도록 돕습니다.

A5 사이즈로 휴대가 간편합니다. 준비, 참고, 후속 조치 및 어려움에 직면했을 때를 위해.

회장: 다비드 Schlaepfer / Schläpfer, David - **연락처:** kontakt@SVFAB.ch

주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1



Schweizerischer Verein für ausgewogene Berichterstattung
Association suisse pour une information équilibrée
Associazione svizzera per un reporting equilibrato



당신은 세상을 제대로 본다고 생각하지만, 사실은 누군가가 씌운 틀을 보고 있는 것입니다. 프레임은 세상에서 가장 오래되고 정교한 조작 기술입니다. 사실 자체를 바꾸는 것이 아니라, 우리가 사실을 어떻게 받아들이고, 어떻게 느끼고, 무엇을 믿고, 어떻게 결정하는지를 바꿉니다. 그리고 이 기술은 효과적입니다. 왜냐하면 우리 모두가 매일 무의식적으로, 당신도 참여하고 있기 때문입니다. 이 책은 딱딱한 교과서가 아닙니다. 재미있고, 직접적이며, 실생활 예시로 가득한 워크북입니다. 다른 사람들이 당신을 어떻게 프레임에 담는지 배우는 것뿐만 아니라, 스스로를 어떻게 프레임에 담는지, 그리고 그것을 의식적이고 공정하게 사용하는 방법을 배우게 될 것입니다.

프레임을 이해하는 사람들은 세상을 더 명확하게 보고, 뉴스를 다른 시각으로 바라보며, 더 자신감 있게 대화를 이끌어 나가고, 다른 사람이 선택한 프레임에 쉽게 휘둘리지 않게 됩니다.

정치, 미디어, 그리고 일상생활에서 가져온 다양한 연습 문제와 구체적인 예시, 그리고 중간중간 웃음까지 더해져 있습니다.

스타일 있게 프레임을 활용하세요. 프레임이 모든 것을 바꾸기 때문입니다.

회장: 다비드 슬래퍼 / Schläpfer, David - **연락처:** kontakt@SVFAB.ch
주소: SVFAB, P.O. 박스, CH-8021 취리히 1/ Postfach, CH-8021 Zürich 1